

No.

81

平成26年 8 月 1 日発行

6 月定例会

発行 秋田県鹿角市議会
編集 市議会だより編集委員会
〒018-5292 鹿角市花輪字荒田4番地1
TEL (0186) 30-0280
e-mail gikai@city.kazuno.lg.jp
URL <http://www.city.kazuno.akita.jp/>



がづの市議会だより



鹿角市議会議員研修会で地震体験車を試乗しました

6 月定例会	2	委員会審査ズームアップ ..	7
一般質問に6名登壇	3	委員会派遣調査報告	8
議会報告会	6	議案審議結果一覧	8

第4回定例会

一般会計補正予算など

原案可決

平成26年第4回定例会
が6月6日（金）から6
月24日（火）までの19日
間の日程で行われ、議案
9件が上程され、原案可
決されたほか、議員提出
議案についても原案のと
おり可決しました。

また、最終日には市長
より法テラス鹿角開設に
かかる補正予算が追加提
案され、原案可決しまし
た。

○市長から推薦依頼があ
った議会推薦の農業委員
会委員について、6月6
日に推薦が行われました。

▼新たに推薦した農業委
員（議会推薦）

・松田 誠子 氏
（花 輪 再任）
・福島美紀子 氏
（花 輪 新任）

主な議案の審議内容

工事請負契約の締結

6月定例会に提案され
ました議案の審議結果に
つきましては、8ペー
ジに掲載しております。

質問 入札が指名入札に
なっているが、な
ぜ条件付き一般競争入札
にしなかったのかただし
ております。

○今定例会において市長
より人事案件2件が提出
されております。

人権擁護委員候補者

沢田 正 氏
（十和田 新任）

固定資産評価審査委員

土館 和子 氏
（花 輪 再任）

名競争入札を行っている
との答弁がなされており
ます。

一般会計補正予算（歳出）

質問 7款商工費、観光
振興費について、

外国人誘客推進事業の概
要についてたまたしており
ます。

答弁 これに対し、県知
事をトップとして

市町村合同で台湾への誘
客活動を行うものであり、
スキー客を中心とした冬
季の誘客であることから、
本市として積極的に参加
して冬季の誘客に努めた
いとの答弁がなされてお
ります。

議会へ提出された

請願・陳情審議結果

平成26年第4回定例会
では、継続審査となつて
いた陳情2件を含む請願
1件、陳情3件を審議し
ました。

結果は次のとおりです。

請 願

《採択》
◆少人数学級の推進など

の定数改善と義務教育
費国庫負担制度2分の
1復元をはかるための
2015年度政府予算
に係る意見書採択に関
する請願

陳 情

《採択》

◆手話言語法（仮称）制
定を求める陳情

《不採択》

◆特定秘密保護法の廃止
を求める陳情（ほか同
題の陳情1件）

議会から

関係機関への意見書

6月24日の本会議にお
いて、議員より提出され
た意見書2件について、
原案可決し、関係機関へ
提出しております。

◆少人数学級の推進など

の定数改善と義務教育
費国庫負担制度2分の
1復元を求める意見書
の提出について

◆手話言語法（仮称）制

定を求める意見書の提
出について

第3回臨時会

平成26年第3回臨時会
が5月2日（金）に開催
されました。

臨時会では、市長より
報告案件1件、教育委員
会委員などの人事案件を
含む議案10件が上程され、
原案のとおり同意、承認
可決されました。

補正予算では、昨年の
豪雨災害で被災した花輪
スキー場ゲレンデ崩落箇
所の復旧工事費と農業施
設災害復旧のための重機
等借上料が計上されまし
た。

また、専決処分の承認
では、鹿角市市税条例の
一部を改正する条例など
審議しております。

◆教育委員会委員の任命

高杉 明美 氏
（尾去沢 再任）

◆固定資産評価審査委員

会委員の選任について
齊藤 策徳 氏
（八幡平 再任）

経済活性化策について

問 鹿角市総生産は3年連続のプラス成長になったが鹿角市経済の展望、予想について伺う

答 地域内での経済環境を高めていくことが可能な産業構成を確立する必要があると考え、外貨を稼ぐ基盤産業の強化と域内での付加価値を生み出す方策について、今年度立ち上げた「鹿角市政策研究所」において調査研究しているところであり、本市の実情に応じた施策を講じることにより、将来にわたり持続可能な地域経済基盤を構築してまいります。

問 「スキーと駅伝のまち」を標榜して数多くの大会を開催しているが、この経済効果はどれくらいあると試算しているか

答 宿泊、飲食、物販等の来場者消費支出による推計で、開催経費と比較し1・5倍から3倍ほどの経済効果がもたらされていることから来年2月に開催する全国高等学校スキー大会開催が地域経済に大きな波及効果をもたらすものと期待をしています。

人口減少対策について

問 どのように推移すると予想しているか

答 人口減少局面が続くという構図はかわっておりませんが減少率が多少緩やかになったことは、これまでの取組が一定の成果となつて表れたものと受け止めているところです。

問 市外に就業している方に対して通勤費の一部を助成できないか

答 原則として通勤に係る費用は通勤先の事業所が手当として支払うものであり、公費助成を行う性質にはなじまないものと考えております。市としてしまして企業立地助成金をはじめとした市内事業者への積極的な支援を行いながら、地場企業の活性化を図っているところであります。

農業政策について

問 多面的機能支払い交付金に市の独自助成を検討できないか

答 更なる市独自の嵩上げは考えておりませんが、本事業の活動が円滑に行われるよう助言・指導等といった事務的な支援体制を強化してまいります。

質問した項目

■経済活性化策について ■人口減少対策について ■農業政策について



児玉 悦朗 議員

(誠心会)

児玉 政明 議員

(公明・鹿真会)



質問した項目

■人口減少対策について ■少子化対策・子育て支援について ■農地中間管理事業の取り組みについて ■市の鳥、声良鶏の保存・育成について ■グリーン電力証書システムの活用について ■スキーのまち鹿角の推進について

福祉医療費給付事業について

問 更なる子育て支援策として、福祉医療給付事業を中学生まで拡充できないか

答 県の定める基準により給付事業を実施しておりますが、私の公約にも掲げておりますとおり、子育て支援策の更なる充実と市民の経済的負担の軽減を図るため、福祉医療費給付を中学生まで拡充することとしております。

問 実施時期につきましては、市の住民情報システムの更新時期に併せて給付システム改修を行うこととしており、平成27年8月からの実施に向け進めてまいります。

農地中間管理事業の取り組みについて

問 業務内容と今後のスケジュールについて

答 業務内容は、事業に対する相談窓口をはじめ、出し手と受け手の掘り起こしや条件交渉、借受予定農地の位置と権利関係の確認のほか、契約締結事務など多岐に渡っております。今年度のスケジュールに

つきましては、秋田県農業公社からは、7月に受け手となる担い手の公募を開始していくと示されているほか、中間管理機構が農地を借り上げる手続きの受付開始は、秋の収穫後を目途に進めて行くと同っておりま

市の鳥、声良鶏の保存・育成について

問 現在の声良鶏の状況と今後の保存のため

答 声良鶏の保存と飼育については、全日本声良鶏保存会が中心となり取り組んでおります。減少傾向であった飼育者数、飼育羽数は、飼育者の勧誘に積極的に取り組んだところ、平成26年3月末には、飼育者数が9名、飼育羽数は79羽まで回復しております。

声良鶏は国の天然記念物であり、市の鳥と定めている経緯からも声良鶏が市内から絶えることが無いよう、保存会に対し継続して支援を行ってまいります。今後は声良鶏が「市の鳥」であるということをPRしていくため、飼育展示等についても検討してまいります。

男女共同参画社会の推進について

問

政府は新たな成長戦略として、労働力確保には女性の力が不可欠としており、女性の管理職登用について目標設定を義務付けるとしているが、市の取り組みについて伺う

答

これまでも男女共同参画計画の中で、管理・監督職について女性職員の登用率を30%とする目標を独自に設定し取り組んできているところであり、重要施策の企画推進に当たっては、これまで以上に女性職員の活躍を期待しているところでもあります。

認知症について

問

市内の認知症の患者数と認知症に関する専門の介護人材と専門医人員はどれくらいか

答

本年6月9日時点で症と判定された方は1532人で、65歳以上に占める割合は全国平均より低い13・2%となっています。専門の介護人材は、介護従事者及び看護師が110人いますが、このうち国の定める認知症介護実践研修を修

了し、専門的な知識を持つ職員は22人です。認知症専門医につきましては、精神科や神経内科の常勤医がおりないことから引き続き医師確保に努めます。

問

超高齢化社会に対応すべく認知症予防対策について伺う

答

認知症に関する講演会など啓発活動を継続するほか、認知症の一因となる脳血管疾患を予防するため、今年度新たに「脳ドック助成事業」を実施するなど、介護予防事業への参加を促し、きめ細やかな支援を行っています。

花輪ばやしについて

問

後継者育成について市の今後の支援計画について伺う

答

関係機関との連携を図りながら後継者の育成に向けた取り組みを進めていきます。

問

期間中の交流人口を増やす取り組みを強化する計画はないのか伺う

答

今年度は、北東北3県を中心に花輪ばやしを前面に出した観光宣伝事業を展開し、交流人口の拡大に努めます。

質問した項目

■男女共同参画社会の推進について ■認知症について ■中心市街地活性化について ■花輪ばやしについて



吉村 アイ 議員
(無会派)

質問した項目

■災害の復旧と支援について ■集落の対応と市町村合併について ■高齢者福祉と食の教育について ■新エネルギーとスマートアグリについて

浅石 昌敏 議員
(誠心会)



小坂町との合併について

問

小坂町との合併問題から10年経ち、市長は今、どのような考えでいるのか

答

今現在では合併特例債の活用も困難でありますので、私といたしましては、今後とも、必要に応じてさまざまな分野で小坂町との連携を図りながら、市民の所得の向上、福祉の増進につながる施策を展開していければと考えております。

高齢者並びに市民の食の教育について

問

先日、「健康の原点は食にある」という内容の講演を聴講したが、非常に感銘を受けた。高齢者への食の教育に対する分かりやすい冊子を作成し、医療費の抑制が図れないか

答

健康づくりにおいて意識すべきことは、運動・休養・食事であり、食の教育については、地域生き生き元氣塾や出前講座等において、健康づくりに対する食事の重要性を保健師や栄養士が説明する機会を設けております。

ご提案いただきました内容は、市民の健康づくりにおいて、基本的かつ重要なものでありますので、出前講座等でも活用できるように冊子等の作成を検討し、市民への啓発に努めてまいります。

スマートアグリについて

問

スマートアグリは大きな産業となる可能性があり、本市の将来にとって有意義な事業になると思うが、多額の設備投資・電気料金が発生するため、産学官で力を合わせ本市の自然エネルギー開発を加速させ、その電気で賄えばスマートアグリに近づくと思うが、市としてスマートアグリを真剣に考えられないか

答

市としては、スマートアグリの実現には各種機器の導入だけでなく、データの活用や分析を含めた総合的な技術体系を確立する必要があることから、県が進めている広域的な取り組みなどと歩調を合わせながら、本市における活用の可能性を検討してまいります。

障がい者、高齢者対策

問 認知症不明者の対策について

答 認知症が原因で行方不明となった方は、

昨年3人、今年は現時点で1人を数えており、いずれの方も無事に自宅に送り届けられている状況であります。一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加している中、認知症高齢者は今後も増加するものと見込んでおりますが、市では、認知症サポートー養成講座を開催しながら、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守ることができ体制づくりを進めているほか、平成24年3月に郵便局や宅配事業所等市内59の事業所と見守りネットワーク協定を締結して、見守りが必要な高齢者や異変の早期発見にご協力いただいております。

問 代読、代筆支援の充実について

答 日常生活において援助に必要な高齢者に対し、軽度生活援助サービスを行っておりますが、代筆サービスについては、シルバー人材センターへ委託

する形で実施されております。また、視覚障害により外出などの移動が著しく困難な方に対しては、外出時に同行しながら代読や代筆等を行う同行援護サービスが行われております。今後につきましても障害をお持ちの方の読み書き支援や要約筆記に対するニーズの掌握に努めながら、必要に応じて代読、代筆支援を充実してまいりたいと考えております。

子ども教育活動の推進

問 「読書通帳」の導入について

答 推薦図書リストの配布や、読書感想文コンクールなどを実施しながら読書活動の推進に取り組んでおりますが、文化の杜交流館コモツセ内に開設される図書館では、時間延長や自動貸出機の導入を予定しているほか、児童図書

の充実や読み聞かせコーナーの設置により、読書環境を充実させてまいりたいと考えており、読書通帳の導入は、新図書館の運用状況や先進事例の費用対効果を検証しながら判断してまいります。

質問した項目

■被災者支援システムの運用について ■防災・減災に資する国土強靱化基本法成立について ■障がい者、高齢者対策について ■子ども教育活動の推進について ■消防団の処遇改善について



兎澤 祐一 議員

(公明・鹿真会)



倉岡 誠 議員

(誠心会)

質問した項目

■公契約条例の制定に向けて ■小学校の社会体育化について ■学校防災対策について ■老人クラブの現状と課題について ■きりたんぽFMについて

公契約条例の制定に向けて

問 公共工事発注において、官製ワーキングプアをつくっていないか検証したことはあるか

答 工事請負契約締結後において業者間で下

請け工事が必要な場合はその契約内容を届出していただき、過度な下請けが行われていないことを確認しております。

また、入札につきましては、一部において条件付き一般競争入札を採用しているほか、地元業者による指名競争入札を採用すること、公正性、透明性及び競争性の確保に努めながら適切な執行を行っております。

老人クラブの現状と課題

問 今後の老人クラブの推移をどのように認識しているか

答 今年度の単位老人クラブは63クラブ、会員数では3394人となっており、昨年度と比較すると、5クラブ、287人減少しており、本市としても懸念しております。

問 老人クラブの必要性とあり方はどうあるべきか

答 一人暮らし高齢者が増加する中、高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全安心に暮らすため、高齢者同士が地域の中での横のつながりを強め、お互いに助け合う地域コミュニティを形成することが期待されます。

時代の変化とともに趣味嗜好の多様化が進む中、若手会員が積極的に参加できる体制づくりなど、変革が必要な時期に来ているため、活性化を図る方策について、市としても一緒に話し合いながら考えてまいります。

きりたんぽFMについて

問 市内の難聴地域の解消をすべき

答 開局当初に想定した本市世帯力パー率としては96%以上と、全国的にみて極めて高い力パー率となっております。

また、鹿角きりたんぽFMでは、電波放送以外にも本年4月よりインターネットを活用したサイマル放送も配信しており、難聴箇所を補完する機能として期待しているところであります。PRをサポートしていきたいと考えております。

議会報告会 市民と語る会

鹿角市議会基本条例に基づく議会報告会は、3年目を迎え、今回は4月19日、20日の2日間、3班に分かれて市内6会場で行い、あわせて43人の方よりご来場いただきました。

今回も会場準備、受付、進行等をすべて議員が行い開催いたしました。

当日は、第1部として3月定例会の審議内容についてご報告し、第2部では、1班が「災害について」、「まちづくりについて」、2班が「子育てについて」、「農業問題・変わる農業政策」、3班が「新しく変わる農業政策」と、各班ごとにテーマを設定し意見交換を行ったほか、ご参加いただいた皆さまと市政や議会に対しての活発な意見交換を行うことができました。

議会に対する厳しい意見や激励のお言葉など、大変貴重なご意見をいただきました。当日、皆さまから出された意見、要望、アンケートの主な内容は次のとおりです。



■会場で出された主な意見・要望等■

◆八幡平市民センターの改築について、移転予定地は米代川と熊沢川の合流地点で危ないと思うが、どこが決定権を持つて決めたのか
↓今回は八幡平の地区の方々が話し合つて決めました。議会としては、避難経路や水害対策など注視してまいります。

◆鹿角市には独身の男性が多いと思うが解決策はないか
↓雇用場の確保・所得向上など広く合わせて解決しなければならぬと考えて

おり、議会としても引き続き検討してまいります。

◆報道によると一般質問を制限する動きがあるようだが、議員一人ひとりの権利を制限するべきではない
↓議会改革検討委員会において協議をしておりますが重複質問の解消など引き続き検討してまいります。

◆コモッセや武道場、大湯の湯の駅などバブル期の様に箱物が建つが、人口減少により税収が減れば孫の世代に負の遺産を残すことになるか
↓過疎債や有利な補助金の活用、また、武道場は既存のアメニティ倶楽部ハウスのトイレを使う計画にするなど市の持ち出しが少なくなるよう努めております。

■アンケートから■
・もつと出席者が出るよう検討して欲しい。
・市議会議員として自覚を持つてもらいたい。常に市民の声を聞く、市民が関心を持つようにこれからも報告会は開催を願います。

・地域で何ができるか、何ができないか、市民の要望を聞くだけでなく、実現に向けて努力しているところを見せてほしい。期待しています。
・いろいろ話しを聞けて良かったと思いますが、地元出身の議員も入れて欲しいと思いました。
・出席者数が足りなかったことは残念です。しかし議員さん達が色々話を聞いてくださり良かったと思います。地元の議員さんがいないということも良かったように思います。

傍聴席から一言

初めて議会の傍聴させていただきました。商店街活性化及びそれに伴うアイデア・イベント等に関する議題が出ていないのにつとガッカリ。

今後いい鹿角市にするために一般市民より広くアイデアを募集するよう提案します。
以前にも同様の事柄があったと思うが立ち切れになつていないのではないか。

小生もアイデアを提出したことがあります。その後話し合いがされた様子が無いように思う。

市民からアイデアを受け入れ、対応課となる部署を配置、担当職員を配備しどんどん募集するように望む。

それにより議員及び市職員、市民自身が見逃しているいいアイデアが発掘されるかもしれません。
(花輪 男性)

9月定例会議事日程 (予定)

次回定例会の議事日程案が、次のとおりとなりました。
正式な日程は、8月29日開催予定の議会運営委員会決定します。

開	会	9月 5日 (金)	
一	般	9月16日 (火)	～17日 (水)
各	質	9月18日 (木)	、19日 (金)、22日 (月)
閉	問	9月25日 (木)	
	委員		
	会		

総務財政

◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算(第2号)中、歳入の「がんばる地域交付金」は、新聞報道では約3億8400万円の交付決定とあるが、今回、2億2395万3000円が予算化されており、残りについては今後どうなるかたまたましております。

これに対し、現時点では限度額の内示ということで、正式に交付決定を受けているわけではないが、昨年同様様の交付金である「地域の臨時交付金」の場合も、ほぼ限度額の内示どおりにきていることから、新聞でも公表された数字で歳入は見込まれる予定であり、また、今回の補正では、小規模修繕は対象外で地方債が充てられるような建設事業が対象となっており、2億2395万3000円を計上したが、河川の整備さらには道路の整備等

も考えられるので、市内の業者への発注状況なども加味し状況を見ながら、年度内に有効に活用できるよう、追加計上をしてまいりたい。

さらに、本市は国が求めた職員給与カットに応じなかったが、それ以外の行革の取り組みにより、補助率が加算され、結果として、県内では2番目に大きい交付額となったものであるとの答弁がなされております。

また、歳出では、職員管理費の人事管理費について、職員の産休育休の状況と代替臨時職員についてたまたましております。

これに対し、現在、職員の産休育休の取得状況については、4名が取得中で、今後も新たに数人の産休が見込まれており、その代替については、これまでと同様に、臨時職員の補充で、対応するとの答弁がなされております。

教育民生

◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算(第2号)中、体育施設費の体育施設整備事業、施設整備工事費について、水晶山スキー場の第一ペアリフト運転盤交換工事に関し、リフトそのものは大丈夫かたまたましております。

これに対し、これまでもワイヤーやブレーキなど順次更新を進めているとの答弁がなされております。

また、「武道場整備事業」について、当初アメニティ東側に建設するとの説明があつたが西側に建設することにより面積等変更があつたか、また、各種大会の開催は可能かたまたましております。

これに対し、今回建設する柔道場1面、剣道場1面は、正規な試合ができる規格だが、普段の練習での利用を想定しており、観覧席などは設置せず、大会を開催する場合は、アメニティ倶楽部ハウスアリーナ等を活用することになるとの答弁がなされております。

また、所管事項報告の中で、法テラス鹿角の開設について報告がありました。

法テラスは、全国あまねく法による紛争の解決に必要なサービスの提供が受けられるよう、政府全額出資で設立された機関で、昨年末から法テラス本部や法務省、弁護士会等により本市への司法過疎地域事務所の開設を要望してまいりました。

その結果、法テラス鹿角が9月上旬をめどに開設される見通しになったものです。

場所は福祉保健センター12階を予定しており、スタッフ弁護士1名が常駐しながら、法制度に関する相談や経済的な余裕のない方への法律援助や、司法ソーシャルワークと呼ばれる行政機関と連携した活動が行われる予定とのことです。

産業建設

◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算(第2号)中、農業構造改善対策費の「農業農村支援機構運営費負担金」について、秋田県農地中間管理機構の業務の一部を鹿角市農業農村支援機構で受託すると

の説明であつたが、職員体制をどのように考えているかたまたましております。

これに対し、新たに中間管理機構を担う職員として、非常勤職員2名を任用したいと考えているが、支援機構の業務を兼務する市職員や農業委員会職員等も機構の業務に従事する予定としており、JA等とも連携を強化しながら、準備を進めているところであるとの答弁がなされております。

また、観光施設費の施設補修工事費の事業内容についてたまたましております。

これに対し、湯瀬溪谷にある散策路の木道を設置している区間に

ついて、経年劣化により安全な通行に支障があるため改修工事をするもので、劣化した部分だけでなく、全面を取り換える工事であり防汚処理等も施す予定であるとの答弁がなされております。

◇工事請負契約の締結について(農業集落排水事業処理施設(プラント)建設工事について、処理場の建設場所について、昨年の水害で被災した場所であると思うが、立地場所として問題はないのかたまたましております。

これに対し、周辺に用排水路もしくは河川があることが必要であり、地元自治会とも確認し、今回の場所に決定したものである。国道や米代川の堤防よりも高く建設する計画としており、処理場そのものの浸水は避けられるよう十分配慮しているとの答弁がなされております。

【第4回定例会において審議した議案の審議結果】

件 名	審議結果
〔市長提出〕	
◇継続費繰越計算書について（鹿角市一般会計）	—
◇繰越明許費繰越計算書について（鹿角市一般会計）	—
◇繰越明許費繰越計算書について（鹿角市下水道事業特別会計）	—
◇繰越明許費繰越計算書について（鹿角市農業集落排水事業特別会計）	—
◇事故繰越し繰越計算書について（鹿角市一般会計）	—
◇人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
◇固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決
◇工事請負契約の締結について（八幡平配水池築造工事）	原案可決
◇鹿角市下水道事業特別会計への繰入れの変更について	原案可決
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇工事請負契約の締結について（農業集落排水事業処理施設（プラント）建設工事）	原案可決
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
〔議員提出〕	
◇少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	原案可決
◇手話言語法（仮称）制定を求める意見書の提出について	原案可決

委員会派遣調査報告

産業建設常任委員会

（新潟県妙高市・長野県信濃町・富士見町）

○妙高市では、「滞在型市民農園」について視察しました。クラインガルテン妙高（滞在型市民農園）は敷地面積約1万平方メートルの中に20区画の宿泊施設と農園を有しており、月に4日以上滞在すること等の条件があります。これまで7組が定住しました。定住に向けた住まいや働き口等の確保が課題であるとのことでした。

○信濃町では、「森林セラピーと癒しのまちづくり」について視察しました。全国に先駆けて森林セラピーの取り組みを開始したまちであります。ターゲットとして、都市部企業等の団体客の確保に力を入れており、大学や企業とも提携しながら様々な取り組みをしております。また、料金体系が全国的にみても高額であります。また、トレーナーが前日から利用者を訪ね十分な打ち合わせを行うなど、利用者から満足してもらうためには必要な金額設定でした。



○富士見町では、「移住者支援制度」について視察しました。新規就農者支援では量より質を重視し、10人の新規就農希望者がいれば1人しか採用してません。農業適正のある人だけを受け入れることにより、富士見町での新規就農は厳しいが採用されると成功するといふイメージをつくることにより、良い人材を確保しているとのことでした。

いずれの自治体でも様々な課題はあるものの各地の特徴を活かした施策を展開し克服していくという意気込みが感じられました。（参加委員名）浅石昌敏、小田修、黒澤一夫、福島壽榮、和井内貞光、兎澤祐一、成田哲男

編集後記

印刷の関係上、7月上旬に編集後記を執筆していますが今現在話題のニュースといえば東京都議会のセクハラ野次問題や兵庫県議会の政務活動費の不正支出問題など、地方議会のニュースが取り上げられております。

共通していえることは、間違いを犯したなら素直に認め謝罪することが普通の人ができることではないでしょうか。人間、一度や二度の失敗はあると思いますので、その時には正直にしたいものです。しかし、公人の場合、発言には十分気をつけながらも、何事にも説明責任を果たさなければいけません。

我々も議会報告会に関わらず、普段からそのような態度で臨みたいと思います。

（児玉政明）

市議会だより編集委員

委員長 館花 一仁

副委員長 安部誠一郎

委員 児玉 政明

和井内貞光

児玉 悦朗